

一般質問

①町普請事業を利用し、バス停にベンチの設置をすることが協働のまちづくりにつながるのではないか。
 ②地域交通の在り方で、おいて、年度内には基

～森田議員～
 童話村構想実現は、行政だけでなく、地域と協力して進めていくテーマであると考えるが、

①町普請事業を利用し、バス停にベンチの設置をすることが協働のまちづくりにつながるのではないか。

②（＊）滝上町地域公共交通活性化協議会に



問 協働のまちづくりの取り組みは
答 各団体の取り組みを参考したい

デマンドバスの運行は必須課題である。現在の検討状況は、③商店自らの送迎サービスも、立ち行かなくて、送迎の助成も含め、検討すべきでは。

④後期基本計画（総合計画）の策定が進められている中、ポケットパークについては検討されているのか。又、空き家を活用し、町民のコミュニケーションを図る場所としてサロンを新設できないか。

～清原町長～
 ①歩道上のベンチの設置などについては、道路管理者に対して占有許可の申請等が必要となる為、いろいろと調整が必要な案件と考える。

～森田議員～
 ①町内会連合会と協力して、「協働まちづくり大賞」なるものを新設してはどうか。まちづくりの活性化が図れるのではないかと思うので参考として、今後活用させていただきたい。

～清原町長～
 ①「協働まちづくり大賞」の設置という事は現在考えていらない。

～森田議員～
 既に、十分な公園が存在している。
 サロンについて、空き家・空き地の活用は、多くの時間と労力が必要になり、難しいと判断している。

～清原町長～
 既存の施設やサービスをより効果的に活用するための工夫に関しては、十分に検討したい。

～森田議員～
 ②2月をめどにして全体会議を行い、令和6年12月末までに計画を策定する準備をしていくところである。

～清原町長～
 町普請事業の事例をまとめて広報等に掲載しては如何か。

(*) 滝上町地域公共交通活性化協議会

地域公共交通活性化協議会とは、「地域公共交通の活性化及び再生に関する法律」に基づき、地域公共交通計画の作成及び実施に関し必要な協議を行うとともに、「道路輸送法」に基づき、地域における需要に応じた住民の生活に必要な旅客運送の利便の増進を図り、地域の実情に即した輸送サービスの実現に必要となる事項を協議するために設置する法定協議会。